

県民の皆さんとめざす姿

県民の皆さんの多様な学習ニーズに応えることができる学びの場や機会が、さまざまな主体の力を合わせた活動により数多く生み出され、県民の皆さんが楽しく学びながら、自らの知識や経験を生かして積極的に活動しています。

現状と課題

- 県民の皆さんの学習ニーズは多様化・高度化しており、それぞれのライフステージにおける学習ニーズを的確に把握し、そのニーズに応じた学習機会を提供することが求められています。
- 県民一人ひとりのライフスタイルに対応した学習環境の整備や、市町や地域の活動団体等との連携など、県内のどこでも学習できる場や仕組みづくりが必要です。
- 学んだ成果が個人にとどまることなく、人づくりや地域づくりにつながるよう、活動の場の提供や情報提供の充実など、成果を生かすことができる環境づくりが求められています。
- 生涯学習の推進に重要な役割を担う社会教育においては、多様化・高度化した学習ニーズへの適切な対応が求められているほか、社会教育活動の推進にあたり、さまざまな主体との連携を図る必要があります。

変革の視点

生涯学習センターをはじめとする生涯学習施設の機能充実や連携強化等のこれまでの取組に加え、県民の皆さんとの「協創」により魅力的な博物館づくりを進めるとともに、公民館や図書館等の「身近な拠点」や学校、地域との連携を強化することにより、県民の皆さんが県内のどこでも学習できる環境づくりを進めます。

平成 27 年度末での到達目標

これまで自己の関心やライフスタイルにあった学習機会を得られなかった県民の皆さんが、容易に自己のニーズにあった学習情報を得ることができ、気軽に学びの場や機会を利用しています。

また、これまで学習活動を行ってきた県民の皆さんも、より高度な知識や技術を習得し、学んだ成果を生かす機会を得ています。

県民指標

目標項目	現状値	目標値	目標項目の説明
参加した学習活動に対する満足度	72.0% (22 年度)	77.0%	県立の図書館、博物館、美術館、斎宮歴史博物館および生涯学習センターが実施した展覧会、講座・セミナーにおけるアンケート調査で、講座の内容等について、「満足している」と回答した人の割合

平成 24 年度の取組方向

- 県立の図書館、美術館、斎宮歴史博物館、生涯学習センターは、県民にとって利用しやすい施設運営を行うとともに、多様化・高度化する県民の学習ニーズに応えられるよう、所有する資源を最大限活用し広く県民に還元します。
- 新県立博物館については、「ともに考え、活動し、成長する博物館」を実現するため、県民や地域の団体の皆さんなどとともに、引き続き魅力的な博物館づくりを進めます。
- 各生涯学習施設が、市町や活動団体等と連携し、次世代を担う子どもを対象に、文化・芸術や歴史などに関する参加体験型の学習機会を提供します。
- 三重県生涯学習センターは、市町や学校等との連携により、魅力ある講座の開催やアウトリーチ事業など、さまざまな学習機会を提供するとともに、三重県生涯学習情報提供システムの運営を行い、多様な魅力ある学習情報を提供します。

- 県立図書館は、三重県に関する資料や情報の収集・活用とともに、県民に身近な市町立図書館等や県立学校との連携を通じて、人づくりや地域づくりに取り組む県民の活動を支援します。
- 県立美術館は、開館30周年を迎えるにあたり、これまでの美術館活動の集大成である記念事業として、三重県にゆかりのある展覧会の開催をめざします。
- 地域の中核となる社会教育関係者の人材育成を行うことにより、社会教育活動を促進します。また、県立青少年教育施設において、自然体験活動などを実施することにより、健全な青少年の育成を進めます。

主な事業

- ① 新県立博物館整備事業（環境生活部）
 - 【基本事業名：26201 学びあう場の充実】
 - （第2款 総務費 第5項 生活文化費 3文化振興費）
 - 当初予算額：(23) 1,803,128千円
→ (24) 5,167,626千円
 - 事業概要：建築工事、展示製作、情報システムの構築などの施設整備、公文書館機能の整備を含む開館後の博物館活動や運営の構築に、県民や地域の団体、関係機関の皆さんと取り組むとともに、新博物館の魅力を伝える広報をより広く展開します。
- ② 豊かな体験活動推進事業（環境生活部）
 - 【基本事業名：26201 学びあう場の充実】
 - （第2款 総務費 第5項 生活文化費 3文化振興費）
 - 当初予算額：(23) ー 千円 → (24) 8,553千円
 - 事業概要：各生涯学習施設が、市町や活動団体と連携し、次世代を担う子ども等を対象に文化・芸術や歴史などに関する参加体験型の学習機会を提供します。
- ③ 生涯学習センター事業（環境生活部）
 - 【基本事業名：26201 学びあう場の充実】
 - （第2款 総務費 第5項 生活文化費 8総合文化センター費）
 - 当初予算額：(23) 13,506千円 → (24) 13,506千円
 - 事業概要：多様化・高度化する県民の学習ニーズに応えるため、情報収集、学習機会の提供を行うとともに、市町の生涯学習や地域づくりを支援するための研修会を開催します。
- ④ 学びの拠点活用支援事業（環境生活部）
 - 【基本事業名：26201 学びあう場の充実】
 - （第2款 総務費 第5項 生活文化費 8総合文化センター費）
 - 当初予算額：(23) 3,569千円 → (24) 3,569千円
 - 事業概要：三重県図書館情報ネットワークを核とした情報・物流ネットワークの強化により協力貸出の充実を図るとともに、市町立図書館等の職員を対象にさまざまな研修を実施するなど、県内図書館の充実を図ります。
- ⑤ （新）美術館開館30周年記念事業（環境生活部）
 - 【基本事業名：26201 学びあう場の充実】
 - （第2款 総務費 第5項 生活文化費 10美術館費）
 - 当初予算額：(23) ー 千円 → (24) 34,330千円
 - 事業概要：県立美術館の開館30周年を記念して、企画展「KATAGAMI Style」展を開催します。
- ⑥ 社会教育推進体制整備事業（教育委員会）
 - 【基本事業名：26202 地域と連携した社会教育の推進】
 - （第10款 教育費 第6項 社会教育費 1社会教育総務費）
 - 当初予算額：(23) 2,440千円 → (24) 1,579千円
 - 事業概要：市町教育委員会や関係団体等と意見交換を行うなど連携を強化するとともに、社会教育関係者の人材育成等を行います。
- ⑦ 熊野少年自然の家事業（教育委員会）
 - 【基本事業名：26202 地域と連携した社会教育の推進】
 - （第10款 教育費 第6項 社会教育費 1社会教育総務費）
 - 当初予算額：(23) 47,108千円 → (24) 78,919千円
 - 事業概要：フィールドアスレチックや天体観測など、地域の自然を活かした体験活動を実施し、集団宿泊研修の機会を提供します。
- ⑧ 鈴鹿青少年センター事業（教育委員会）
 - 【基本事業名：26202 地域と連携した社会教育の推進】
 - （第10款 教育費 第6項 社会教育費 1社会教育総務費）
 - 当初予算額：(23) 99,455千円 → (24) 70,193千円
 - 事業概要：伝統工芸である伊勢型紙の創作活動や児童生徒の自主性を育むキャンプなど、さまざまな体験活動を実施し、集団宿泊研修の機会を提供します。